広報
さめがわ
昭和57年
12月号
No. 348
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所

お母さん・お嫁さんの明るい笑顔が
家庭を、社会を明るくする



鮫川村の名物行事になったお母さんお嫁さんに感謝する会は、文化祭の中日にトレーニングセンターで開かれ、今年は1,000人を超える参会者でにぎわいました。

先づ健康で賢こい赤ちゃんを育てた若いお母さんに表彰が贈られ、石田村長からお母さんお嫁さんたちの日頃のご苦労に感謝し、皆さんの明るい笑顔が家庭を、社会を明るくするもとであるから、いつも健康で心に太陽をもって下さいと挨拶がありました。

続いて小中学生代表の母に贈る感謝の作文朗読、藤田婦人会長さんの謝辞があり、アトラクションの踊りや民謡が披露され、最後に村出身のレコード歌手一本道のぼるさんと、小川いつ子さんのすばらしい歌謡曲を心ゆくまでたのしみました。

- ⊙ 12月1日～25日　村税完納運動月間
- ⊙ 12月1日～25日　歳末たすけあい運動
- ⊙ 12月15日～1月14日　年末年始の交通事故防止県民運動

今月の人口
(12月1日現在)

		前月比
人口	5,605	(＋6)
男	2,777	(＋1)
女	2,828	(＋5)
世帯	1,127	(　0)



会場いっぱいに展示された創作品

村のミニ文化祭

赤坂西野地区高齢者の創作品展示コンクール開かれる

村の文化祭に先がけて、一〇月三〇日西野小学校体育館で、赤坂西野地区高令者活動推進会（会長須藤栄恭氏）の創作品展示コンクールが開かれ、参観者で賑わいました。

赤坂西野地区は、今年の六月に高齢者を対象とした農村高齢者生がい対策特別事業の対象地域に指定され、高齢化社会が進行するなかで、高齢者の生がい充実と積極的な社会参加を目的に地域づくりの実践活動を続けています。

この日開かれたコンクールもこの事業の一環で、高令者が持っている技術を生かした、わら、竹、藤、ツル細工の創作品や農産物などが会場いっぱいに展示され、村のミニ文化祭といえるほどの盛況でした。

展示された創作品には、村長賞、農業協同組合賞、そのほか全員に、見事賞、上手に作ったで賞、アイデア賞、良く頑張ったで賞が推進会から贈られ、出品者をよろこばせました。

おばなのつぶみ(44)

期待多かりし昭和五七年をおくる

村長　石田卯子八

大冷害であった昭和五五年に続く昭和五六年も災害に明け暮れた年でした。昭和五七年こそと誰しも期待をかけた年でしたが、現実は三年続きの不作というかたちで暮れようとしております。

今年の稲作は初期の生育がよく豊かな秋を予想されたのですが、穂の形成期に低温がきて花器障害を起し、また著しく生育が遅れたところに八月上中旬の出穂開花期に再び低温が現われ、大きな被害となりました。

それでも標高の低い地域や、気温低下時に品種や耕種法の関係で花粉形成や開花受精に影響を免れたところもあり、地域差、個人差を大きく開きました。

このうえは当面の対策とこれからの方策について着実で効果的な努力をつくして行かなければなりません。

さてこのような状況の中で、村が目ざした重点事業は、村民皆様のご協力のもと、それぞれ順調な事業も進み、赤坂西野区の運動広場造成工事は大事業であるが年度内完成を目途に進捗しています。

第三期山村振興事業も実施第一年次に入り、農道整備事業二路線が着工、村内各集落に街灯を設置する事業や多目的集会施設としての青生野区集落センターも完成を進捗を示しております。

国の指定をうけて実施している新農構事業では、農業者トレーニングセンターが完成し、一〇月五日に竣工を祝い、その後連日連夜にわたって体育行事その他に利用されております。

塚本、岩野草両地区の圃場整備事業に採択を要請しました。

国、県も財政事情極めて困難な時ではありますが、継続事業を初め若干の新規採択も認めて頂き、早期発注も相当多く、事業が進められていることはよろこびにたえません。

文教施設では青生野小学校の屋内運動場が完成し、鮫川幼稚園の増築工事も竣工しました。県立高校鮫川分校舎の建築工事も進んでおります。

消防施設の整備で、小型動力ポンプ、積載車、防火水槽のすべてが国県補助の対象となったこともよろこばしく、今後の防災活動が期待されます。

冷害に加えて台風一〇号、一八号の強風豪雨の被害も莫大に上った昭和五七年。村建設課の災害復旧業務は累増し、経済課も対応に追われ、まさに非常事態の一年でありました。

今月の納税

村県民税（第四期分）
納期限　一二月二五日

心配ごと相談

一二月二〇日（月）
午前一〇時～午後二時
山村開発センター

おめでた

十月

新宿　近藤　好恵　父近藤保弘

十一月

関口耕地　藤田　絹枝　父藤田俊一
中野町　遠藤　勇気　父遠藤雅人
大塩　鈴木　歩実　父鈴木一二

おくやみ

十一月　年齢世帯主

青生野　澤口　三治62歳澤口和久

消防団勤続実に39年

栄光燦たる勲六等旭日章

前団長　蛭田藤留氏



鮫川村消防団前団長蛭田藤留さんは、多年消防業務に献身的な精励をつくされた功績が認められ、このたびの秋の叙勲で勲六等旭日章を授与される光栄に浴しました。

蛭田さんは大正一一年の生れで今年六〇歳、昭和一四年当時の村警防団員を拝命して以来三九年の長い間、団員、班長、副分団長、本団部長、副団長、昭和四四年から五二年までは団長の職に在り、その間数々の水火災天災等に出動して献身的な貢献をされ、長く消防団の役員、最高責任者として卓越した手腕を発揮されました。

このたびの叙勲はこれらのすぐれた功績が認められたもので誠に慶祝にたえません。

勲章の伝達は一一月一一日東京虎の門の日消ホールで行われ、蛭田さんは令夫人と共に出席され、続いて皇居内新宮殿豊明殿において天皇陛下の拝謁を受け、感激も深く帰郷されました。

村、消防団、渡瀬区はこの栄光を称えるため一二月一一日に、叙勲祝賀会を山村開発センターで開催することにしております。

田中ニットの田中正右社長さん
教育振興基金にポンと百万円



株式会社田中ニット鮫川工場は鮫川村が誘致した繊維産業の工場ですが、立地以来メキメキ業績を伸ばし、過疎の歯止めにも大きな役割を果たして村民からよろこばれています。

先頃創業一〇周年の記念祝賀会が山村開発センターで盛大に催され、社業の隆盛を祝いました。

この機会に教育に理解の深い田中正右社長さんから、村の人材育成の資金にと一〇〇万円が寄付されました。村ではこのご厚意にこたえ条例化して資金運営を図るため検討しています。

初冬の未明うす暗い寒気の中で
火災防御訓練実施



火災の多発期を前に、消防団と消防分署の合同火災防御訓練が戸草の青少年の家を中心に、一二月二日の未明、まだうす暗い寒さの中で実施されました。

この朝午前五時五六分青少年の家から出火し強風にあおられて延焼拡大中という想定で訓練が開始され、電話通報、火事ぶれの訓練から安全迅速な出動、先着消防隊の防御活動、現地対策本部から後続消防隊への命令系統の確認、中継放水活動など迅速確実な動作で行われました。

出動した消防団員は一一〇名、部落の方々も多数参観して、消防団員や署員の機敏な活動に感心していました。

知事感謝状に輝く
中川西金之助さん
高坂エイさん

多年民生事業に献身的に努力されている民生委員の中川西金之助さん（石井草字森ノ前）と高坂エイさん（赤坂西野字上）に、このほど郡山市で開かれた、福島県社会福祉大会の席上福島県知事感謝状が贈られました。

第三分団水口班に
新しい小型ポンプを交付

村ではこのたび国から追加の補助をうけ高性能の小型動力ポンプを購入し、これを一一月一八日に第三分団水口班（西山）に配置することにし、団長を通じて分団長に交付する式を役場前庭で行いました。

多彩な村の祭典

文化祭特集



▲ 青年会女子部のお茶会も開かれた





お母さんお嫁さんに感謝する会で表彰された優良健康赤ちゃんとそのお母さんたち。

いつもかわらぬ人気・のど自慢



青年会主催の素人のど自慢大会は一一月二二日の夜トレセンで開かれ、千人の大観衆で人気の上昇ぶりを見せました。





▲ 奔放でにぎやかな幼児作品展は幼稚園で



▶ 注目をあびた婦人会の工夫展・ふるさとの味



▲ 冷害の年とも思えない立派な農産物

第35回文化祭は多種目



地震体験車に試乗したのは754人

学習会発表会も トレ・セン、アリーナで





一一月一九日小中学生の学習発表会がトレーニングセンターの広々としたアリーナで開かれ、村内六校の小学生と中学生が見事な演技でわざを競いました。

文化のすそ野は広く 文芸作品も数多く





今年の文化祭には短歌、俳句、日本画、書道、写真その他見事な作品が数多く出陳され、村の文化の裾野が非常に広くなったことを示しました。



◀ 生きがい対策の高令者作品展は最高の大入り

畜産の村を象徴する共進会も35回となる





左は肉用牛の審査風景。上は県共進会で上位入賞した関根仁さんの参考牛です。(11月11日)

阿武隈山系農業の明日は何処にある

熱心な農業振興シンポジウム



石田村長の基調講演「明日をひらく阿武隈山系農業の展望」

阿武隈山系地域は昭和五五年以来三年続きの冷害に見舞われ、農作物に大きな被害をうけました。

この時に当ってこれからの農業をどう進めるべきか、どの方向に向うべきかは非常に大きな関心事であります。

この課題を捉いて開かれたのが文化祭最終日の「明日をひらく農業振興シンポジウム」でした。

この催しは村と農業委員会、農協が主催者で、熱心な農業関係者五〇〇名の参加でトレ・センを会場に盛大に行われました。

初めに新しい型の農業を現にきりひらいている優良農業者、農業団体に功績表彰が贈られました。

水田利用トマト栽培　水野弘幸
肉用牛多頭飼育　沢口和久
同　鈴木清孝
酪農多頭経営　蛭田　晃
集団トマト栽培　大犬平野菜組合
集団水田転作　西山圃整組合
同　塚本圃整組合
こんにゃく生産　中沢研究会

次いで基調講演では石田村長がこれからの山系農業でも稲作は大事にしなければならないこと、冷害の徹底防除は画期的な品種の改良にあること、農地の集積による大型複合、畜産の拡大、協業の推進などの方向に進むべきであるとその方向を示唆しました。

続いてこれから有望とされる高冷地のハウストマト栽培の体験を青生野の星弘さんが発表し、肉用牛の放牧による多頭飼育一八年の体験を青生野和協組合長の土手内隆男さんが発表して感銘を呼びました。

最後に「高冷地野菜の将来」と題する県の専門技術員佐藤三郎先生の講演があり、須藤英一農業委員会長の総括的な意見を加えての閉会の辞で終りました。

各課めぐり

—最終会—

議会
選挙管理委員会
農業委員会
監査委員会

今月は、議会、選挙管理委員会、農業委員会、監査委員会についてお知らせします。

議会

議会職員は、議長が任免し、議長の命を受けて議会の事務を処理する独立の行政機関です。

事務の内容は、議会の本会議、委員会、請願、陳情の収受、会議録等の議事に関する事項。決議、意見書、請願書等の審議に必要な資料の収集、行政に関する世論、情報の収集等の調査に関する事項、並びに議会の庶務に関する事項を取扱います。

事務局長　青戸　彦磨（前沼）
㊙書記　高坂　修一（浅屋敷）
㊙書記　本郷まさ子（戸草）

選挙管理委員会

選挙管理委員会も行政の中立性等の確保のため設けられている独立の行政機関です。

担当している事務の主な内容は、選挙人名簿の調製に関すること。選挙の執行に関すること。選挙啓発に関することで、そのほか公文書の収受、発送整理、保管に関することを取扱います。

㊙書記長　緑川　清幸（真坂）
主任書記　高坂　修一（浅屋敷）

農業委員会

農業委員会は、農業者の利益代表機関で、特に農地関係業務を主として取扱います。事務の主な内容は農地法、農用地利用増進法による農地の利用権設定や移転・転用許可事務。標準小作料の決定、農地等の利用関係紛争の和解・仲介業務。農業者年金加入促進と経営移譲年金等の指導に関する業務です。

事務局長　前田　三郎（官代）
主査　白坂　勝徳（茅）

監査委員会

監査委員書記は、監査事務について監査委員の業務の補助をする役割を担当しています。

㊙書記　青戸　彦磨（前沼）
㊙書記　本郷まさ子（戸草）

公共事業入札情報

11月30日入札

工事名	落札額	落札者
村道滑石・浅川線道路災害復旧工事	千円 860	鮫川村 富国建設
〃	1,600	〃
村道関下・世々麦線道路舗装工事	4,500	棚倉町 藤田建設工業
村道遠ケ竜・戸草線道路舗装工事	4,600	〃
村道寅卯平・富田線道路舗装工事	4,500	〃
村道新宿・古殿線道路舗装工事	4,450	石川町 水谷工業
村道中沢・関口線道路改良工事	18,500	浅川町 鈴五建設工業
村道火打石・浅川線道路改良工事	8,700	〃

公民館だより

図書貸出

村民一人当り一冊を突破

歴史民俗資料館では、読書普及のため図書の貸出を行っていますが、館内貸出と、今年から移動図書館（青生野小、渡瀬小、富田小、西野小、西山小の児童を対象）の巡回も行っています。一一月末日現在で、五、五八五冊（五六年度一年間の実績二、七四九冊）の貸出実績になり、貸出率が村民一人当り平均一冊となりました。

また蔵書数は、四、一四六冊になっています。

今年は利用度の高い、小学生向けの図書を中心に九〇三冊購入しました。



なお、近日一般向け図書として、日本の風景、日本人の生活と文化（一二巻）、世界の民俗と文化（一二巻）、現代スポーツコーチ実践講座（二八巻）が入荷します。皆さんのご利用をお待ちしています。

優秀作品のそろった 菊花展

文化祭行事の一つとして、村と村菊花愛好会（岡部伝会長）が主催する菊花展が一一月四日から三日間、山村開発センターで盛大に開催されました。

香り豊かな三笠山など二六〇点の展示は、素晴しい出来ばえで大変好評でした。

上位入賞者は次のとおりです。

【競技花の部】

三笠山◇優等賞▽円井イネ子（広畑）▽一等賞＝岡部晃（広畑）

細物▽優等賞＝円井イネ子（広畑）▽一等賞＝舟木タマノ（石ノ花）

【一般花の部】

厚物◇優等賞▽大楽ヨシ（大塩）◇一等賞▽岡部晃（広畑）▽円井イネ子（広畑）＝2点▽矢吹孝之助（大塩）▽舟木藤一（寅卯平）＝2点

細物◇優等賞▽円井イネ子（広畑）▽一等賞▽円井イネ子（広畑）▽高木宗一（薄ケ久保）◇努力賞（会長賞）▽舟木藤一（寅卯平）

結婚おめでとう

公民館方式結婚

九月、一〇月、一一月に、山村開発センターで挙げられた公民館方式の結婚式は次のとおりでした。

新しく結ばれたお二人の幸多い門出を祝福いたします。

	新郎	新婦	媒妁人
9月	高木 一一（薄ケ久保、長男）	青砥サダ子（田尻、貞己、長女）	金沢良二 様
	藤田高一郎（上耕地、梅次、長男）	緑川 英子（塙町、マキ、長女）	ふみ 様
	鈴木 清孝（青生野、清司、長男）	棚井 房子（青生野、正、長女）	山形芳治 様
	佐藤 博（遠ケ竜、一、長男）	遠藤キヨ子（上耕地、慎一郎、長女）	ミヨ 様
10月	下重 守（田尻、兼市、二男）	矢吹恵美子（大塩、隆、四女）	鈴木一夫 様
	渡辺 正三（小名沢、幸太郎、三男）	原 順子（棚倉町、登、三女）	トミ子 様
11月	須藤 宏 様	静子 様	松本栄一 様
	清子 様	萩原 実 様	初枝 様

ふるさとの民話と伝説 —41—

鍬木田の太郎が沢

昔、むかしのこと、どこからともなく一人の旅人がやって来たという。見れば土方風の旅人で、富田地内の、ある人家に立ちよりお茶をよばれ、いろいろと話をしているうちに、その家の主人は、これは見込のある人間と判断し、失礼だがお名前はなんと申しますかとたずねると、総太郎と申す者だと答えたという。それで情ぶかい主人が、私が小屋を建てる資材をただでやるし、またお手伝いもしてやるから、よければこの地に土着して見ませんかと語る。

旅人は大変喜び主人の言葉にほれて、富田の地に土着したという。それからというもの、暮らすには先づ田畑だと考え、お盆も正月もないくらい年中無休のように、一生懸命に開拓に夢中だったという。そんなに働く土方さんですから、長年からずに、たちまちにして沢山の田と畑を造成し、豊かな生活ができたという。

ところが不幸にして、ある年大凶作にであい、今度は食糧に困難を来たし、長年住みなれた地と、汗の結晶である田と畑とを残して涙と共にお別れ、今は亡き恩人、もと土着する時の親ともいうべきお世話様になった恩人のお墓にいとまごいの言葉を告げ、なつかしい富田の地内を、どこへとなく立ち去ったという。この総太郎さんが、田と畑を開拓して残した土地なので総太郎の、総を除いて「太郎が沢」というようになったと語った。故国島義広氏生存中に語り し話

吉田 喜雄



東芝レコードから「みれん妻」を出してデビューした村出身の一本道のぼるさん（本名新妻章滅）はチャリテー歌謡ショーの益金から20万円を村の社会福祉事業へ寄付されました。

工業統計調査に ご協力を

製造業の皆さん、今年も一二月三一日現在で工業統計調査が行われます。

この調査は、製造業を営む事業所を対象として、製造品の出荷額、原材料使用額、従業者数、有形固定資産額などを調査し、工業活動の実態を明らかにすることを目的としています。

調査をお願いする製造事業所には、年末年始にかけて調査員が調査票を持ってお伺いしますので、ご協力をお願いします。

文化祭バザー収益金とシーツを寄付

—商工会婦人部—

今年の文化祭に、村商工会婦人部（部長・藤田富久代さん）は、部員が衣料、せと物などを持ちよってチャリティーバザーを開きました。

その収益金一三、一九七円が村社会福祉協議会に寄附され、また村内のねたきり老人にとシーツ二一枚が寄附されました。

社会福祉協議会では、この暖かな婦人部の方々の善意を有効に事業にあらわすため協議しています。

来年入園する幼稚園児を募集します

鮫川幼稚園では、昭和五八年四月から入園する児童の募集を行っています。希望される方は、お早めに申込んで下さい。

入園志願書は、村教育委員会と役場口に備えてあります。

一、受付期間　昭和五七年一二月一日から一二月二〇日まで

二、受付場所　村教育委員会又は鮫川幼稚園

三、入園定員　一二〇名

四、入園資格、五歳児（昭和五二年四月二日から昭和五三年四月一日までに生まれた児童

五、申請に必要なもの　入園志願書、児童の住民票抄本

※申請について詳しいことを知りたい方は、鮫川幼稚園（電話九—二三五八）におたずね下さい。

樹木の寄付 ありがとうございます

高木勝重さん（薄ケ久保）▽さるすべり一本　▽桜一本　▽いちょう五本　▽つたうるし二本

宗田一男さん（宮代）▽いちょう　二五本

年末年始 特別警戒実施

「火の用心 心で用心 目で用心」

乾燥した日が続き、各地で大きな火災が発生しています。

消防署では年末年始特別警戒を実施します。村民一人一人が火災の予防に努め、明るい家庭で良い年を迎えましょう。

- 子供の火遊び、たばこの投げ捨てはやめましょう。
- 注意報（特に火災警報、強風注意報）発令中は屋外での焚火や野火入れなどしないこと。
- 家庭内では子供と火災予防について話し合いをしましょう。
- 暖房器具は常に整備をしてから使用しましょう。又給油する際は火を消しましょう。
- 焚火をする時は必ず消防署に届出ること。
- 煙突が破損していないか良く点検すること。

「火事と救急は、一一九番」

棚倉消防署鮫川分署

ゴミの収集日

収集コース	種別	収集曜日	1月
江竜田～中野町～中山～田尻～彦次郎～反田～前沼～広畑～湯ノ田（可のみ）～役場～農協ストアー～保育所コース	可燃物	毎週 月 木曜日	6.10.13.17 20.24.27.31
	不燃物	隔週金曜日	14.28
新宿橋～農協倉庫～給食センター～道少田～大塩～宿ノ入コース	可燃物	毎週 火 木曜日	6.11.13.18 20.25.27
	不燃物	隔週金曜日	14.28
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～折戸～水口～官沢コース	不燃物	隔週木曜日	13.27
越虫～青生野～葉貫～戸草～蔵の草～湯ノ田～中沢コース	不燃物	隔週水曜日	12.26
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	月1回4週毎の金曜日	7
宮代～橋久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	不燃物	隔週金曜日	14.28

※休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。
※ゴミは、収集日の朝に出して下さい。

休日の在宅当番医

月	日	曜	当番医院 棚倉町	塙町	矢祭町
1月	1日	(土)	阿部		木村
	2日	(日)	藤田	中島	
	3日	(月)	勝菅田	車田	
	9日	(日)	菅田原	根本	
	15日	(土)	葉薄	生病院	
	16日	(日)	大木	厚	慈泉堂
	23日	(日)	診療所	石川	
	30日	(日)	和田		木村